

「喜界高等学校・喜界中学校の八月踊り伝承活動の取組」

1 学校名

鹿児島県立喜界高等学校及び喜界町立喜界中学校

2 学年・人数

高校女子生徒 61 人 中学校女子生徒 79 人 計 140 人

3 日時・場所

(1) 練習日時・場所

ア 1 学期後半からの体育の授業（各中高校庭）

イ 平成 29 年 9 月 29 日（金）合同練習（町総合グラウンド）

(2) 発表の日時・場所

平成 29 年 10 月 8 日（日）町民体育祭

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事や史跡について

(1) 名称：八月踊り^{はちがつおど}

(2) 由来

「八月踊り」は町内全集落に伝承されている。「豊年祭」や「島あそび」で多く踊られており，集落により唄や踊り方は様々である。また，踊られる行事も集落により異なっている。

(3) 構成等

八月踊りの特徴として，太鼓を持つのは原則として男性であり，皆が輪になり，同じ動きを繰り返しながら踊る。一昔前までは唄者が実際に唄いながら踊っていたが，現在では CD を音源として用いて踊っている。

5 保存会や地域との連携の具体

喜界島郷土研究会が中心となって，各集落の八月踊り DVD を製作した。中学校においては，集落の方に直接指導を受けるが，始めは踊りを覚えるために DVD を活用する。高校生は直接指導はなく，DVD のみである。集落によって唄や踊り方が違うため，毎年，各集落持ち回りでの八月踊りとなっている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

中高生が一緒に踊ることにより，高校生が中学生に指導をしながら後輩を励まし，また，中学生は高校生の態度を見ながら学ぶことも多い。町民体育祭の場で中高生が八月踊りを始めて数十年と歴史は長く，八月踊りを楽しみにしている高齢者や地域の方々も多い。

7 取組の様子



【入場する中学生】



【八月踊りを踊る高校生】

8 参加生徒・保護者・保存会・教員等の感想や意見

- 生徒の感想
 - ・ 同年代で踊るのは学生生活の思い出にもなるのでいいことである。(高2)
 - ・ 多くの方に見られているので少し恥ずかしい気持ちもあるが、「島の宝でもあるので大切にすべき。」という気持ちで頑張っている。(高1)
 - ・ 高校生は動きや先生方の聞く態度など全然違う。私も高校生になったら高齢者や地域の方々に踊りを教えてもらい中学生に良い手本となるよう努力したい。(中3)
 - ・ 島遊び等でも踊る機会はたくさんあるのに今まで出ていなかった。これからは友達を誘っておじいちゃんやおばあちゃんと一緒に踊りたい。(中2)
- 保存会（指導者）
 - ・ 若い世代が八月踊りを覚えて踊ってくれるのが嬉しい。最近では、後継者も少なくなり、今後、八月踊りがなくなっていくと思うと寂しい気持ちになる。このように若い世代が積極的に参加していつまでも受け継いでいけるよう、私たちも学校に協力しながら伝えていきたいと思う。
- 保護者
 - ・ 娘が一生懸命踊っている姿を見て、「八月踊りってやっぱりいいなあ」と実感した。私も娘と一緒に踊れるように練習したいと思う。
- 教職員
 - ・ 県内各地には多くの文化や伝統芸能が残っている。喜界町にも「ウヤンコー」等素晴らしい行事や文化が残っている。郷土愛を育む環境も整っているため、学習に積極的に取り入れていきたい。